

-아/어 보다

～してみる（試み）

日本語の「してみる」とほぼそのまま重なります。過去形にすると「した経験がある」という意味が加わる点だけ押さえてください。

■ つけ方

語幹の母音	形	例
ㅏ・ㅗ	-아 보다	가다 → 가 봐요
それ以外	-어 보다	먹다 → 먹어 봐요
하다	해 보다	해 봐요
過去（経験）	-아/어 봤다	가 봤어요
勧め	-아/어 보세요	드셔 보세요
보다 自身には	つかない	봐 보다 (×)

■ 「してみる」とどう違うか

試しにやってみることを表します。한번 먹어 보세요（一度食べてみてください）。日本語と同じ感覚で使えます。

過去形にすると経験を表します。한국에 가 봤어요（韓国に行ったことがあります）。単に「行ってみた」ではなく「行った経験がある」という意味になり、日本語の「してみた」より経験の色が濃く出ます。

勧めるときによく使います。이거 한번 입어 보세요（これ一度着てみてください）。店員がよく使う表現です。

보다 自身には重ねません。봐 보다とは言わず、한번 보세요と言います。

■ 例文

- 1 이 음식 한번 먹어 보세요.
この料理を一度食べてみてください。
- 2 제주도에 가 봤어요?
チェジュ島に行ったことがありますか。
- 3 한국어로 말해 볼게요.
韓国語で話してみますね。
- 4 이 옷 입어 봐도 돼요?
この服を着てみてもいいですか。
- 5 생각해 봤는데 안 될 것 같아요.
考えてみましたが無理そうです。
- 6 한번 찾아볼게요.
一度探してみますね。

■ 紛らわしいもの

-(으)ㄴ 적이 있다

経験を明示する形です。아/어 봤다 より「かつて一度」という色が強くなります。

가 봤어요. (行ったことがある) / 간 적이 있어요. (かつて行った)

-아/어 주다

相手のためにする行為です。보다 は自分の試みなので方向が違います。

먹어 봐요. (食べてみる) / 먹어 줘요. (食べてあげる)

-(으)려고 하다

しようとする意図です。보다 は実際に試すことを表します。

먹어 봤어요. (試した) / 먹으려고 했어요. (しようとした)

■ まちがえやすい点

× 봐 보세요.

○ 한번 보세요.

보다 に 보다 は重ねません。

× 가아 봤어요.

○ 가 봤어요.

ㅏ + 아 は縮約します。

× 한국에 가 봐요. — 「行ったことがある」の意味で

○ 한국에 가 봤어요.

経験を表すなら過去形にします。